

令和4年度上期「米子市体育施設及び米子市都市公園」モニタリング評価表 令和5年1月

| | | |
|---------|--|-------------------|
| 施設名 | 米子市体育施設及び米子市都市公園 | |
| 施設所管課 | 経済部文化観光局スポーツ振興課 | |
| 指定管理者名 | 団体名 | 米子スポーツマネジメント共同事業体 |
| | 所在地 | 米子市東山町106-4 |
| 指定期間 | 令和3年4月1日～令和8年3月31日 | |
| 選定方法 | 公募・非公募 | |
| 施設の設置目的 | 米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。 | |
| 主な実施事業 | 健康教室（ボディシェイプ、ヨガ、子連れヨガ、ZUMBA、エアロビクス、バランスコーディネーション、アクティブシニア健康教室、親子ふれあい教室、ソフトテニス、ポルドブラ、ジュニアコーディネーション教室、ダンス） 物販販売（パン、ファイテン商品、サラダチキン、雑貨、シューズ、PROバー、ソックス） | |

| 評価項目 | 評価基準 | 評価 | 特記事項 |
|--------------------------|---|----|---|
| I 履行の確認（60点） | | | |
| 1 施設全般の管理運営に関する業務 | | | |
| (1)管理体制 | 施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか | B | 業務の実施に必要な人員の配置がされている。 (計63名体制) |
| (2)職員研修 | 職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか | B | 計画に基づいた研修が実施されている。 |
| (3)利用促進業務 | 利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか | B | 概ね計画通りに広報業務が実施されている。 |
| 2 利用者に関する業務 | | | |
| (1)利用状況 | 利用者数・稼働率等は適切な水準であるか 補足資料※1 | B | コロナ禍の影響や一部施設の改修工事に伴う休場等があり、計画は下回ったが、全体として回復傾向にある 【目標】260,727名 【実績】240,800名(92.4%) |
| (2)利用者の要望把握等 | 利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか | A | 施設に意見箱を常設し、意見の集約に努めているとともに、競技団体との意見交換の場を設けるなど積極的な取り組みが見られる。 |
| 3 保守点検並びに清掃等の業務 | | | |
| (1)保守点検業務 | 基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か | B | 各施設・設備等について、適切に保守点検を行っている。 第三者への委託については、基本方針を定め専門性の高い業務について実施している。 |
| (2)清掃・維持業務 | 基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか | B | 概ね計画どおりである。 |

| | | | |
|------------------|---|---|--|
| | 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か | | |
| (3) 保安・警備業務 | 基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か | B | 施設の性質に応じ機械警備を行うなど、適切に業務を実施している、 |
| (4) 修繕業務 | 基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か | B | 定期的に状況を把握・報告し、適宜対応している。 |
| 4 自主事業の実施に関する業務 | 事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか | B | 計画に沿って複数の教室を並行して開催するとともに、申込状況等を見ながら集客拡大に向けた見直しを随時行っている |
| 5 情報公開・個人情報に係る措置 | 情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか | B | 適切に管理を行っている。 |
| 6 管理目標 | 施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか | B | 市民の健康管理のための施設管理が行えている。 |

II サービスの質の評価（25点）

| | | | |
|----------|--|---|---|
| 1 利用者満足度 | 利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか | B | 施設に意見箱を常設し、意見の集約に努めている。アンケート調査については下半期に実施 |
| 2 維持管理業務 | 日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか | B | 老朽化した施設が多い中ではあるが、維持管理に努めている。 |
| 3 運営業務 | 事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか | B | 今年度から電子予約システムを導入したが、市への苦情等は限定的であり、適切に対応したことが伺える。 |
| 4 自主事業 | 実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか | B | 計画に沿って複数の教室を並行して開催するとともに、申込状況等を見ながら集客拡大に向けた見直しを随時行っている。 |
| 5 施設の効用 | 施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか | B | 市民の健康増進のための施設として役割を果たしている。 |

III サービスの安定性の評価（10点）

| | | | |
|------------------|--|---|-------------------|
| 1 事業収支 | 指定管理業務の事業収支は妥当であるか 補足資料※2 | B | 資料確認 |
| 2 経営状況 | 指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか 補足資料※3 | B | 資料確認 |
| 3 団体等の経営状況（年度ごと） | 団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか | | 経営状況分析については、後期に実施 |

| | |
|---|---|
| <p>【総評（所管課評価）】</p> <p>今年度から電子予約システムを導入し、施設の利用方法に変化が生じたが、事前準備等を含めて適切に対応を行い、大きな混乱を招くことなく施設運営を行っていることは評価できる。</p> <p>複数の自主事業の実施に取り組んでおり、参加者の拡大に期待したい。</p> | <p>合計点 (59) 点 / (95) 点 ×100 = (62.1)</p> <p>平均点 (3.1) 点</p> |
|---|---|

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A（優良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

| 項目 | 本年度〔令和4年4～9月〕 A | 前年度〔令和3年4～9月〕 B | 対比 A-B、A/B | 対比が±20%を超える場合は増減理由を記載 |
|----------|--|--|-------------------------|---|
| 開館日数 | 4,593日 | 4,612日 | -19日、 99.5% | |
| 施設利用者数 | 240,800人 | 239,447人 | 1,353人、100.5% | |
| 施設稼働率 | 屋内施設 99.2% (2136/2153) 屋外施設 59.9% (1462/2440) | 屋内施設 99.3% (2082/2097) 屋外施設 58.4% (1470/2515) | 屋内施設 -0.1% 屋外施設 1.5% | |
| 自主事業参加者数 | 480人 | 59人 | 421人、813.6% | 前年度は第2四半期中途からしか着手できなかったが、今年度は年度当初から実施しているため |

※2 事業収支

(1) 収入

| 項目 | 本年度〔令和4年4～9月〕 A | 前年度〔令和3年4～9月〕 B | 対比 A-B、A/B | 対比が±20%を超える場合は増減理由を記載 |
|--------|--------------------|--------------------|-------------------|-----------------------|
| 指定管理料 | 17,547,793円 | 16,069,705円 | 1,478,088円、109.1% | |
| 施設使用料 | 82,473,600円 | 83,952,158円 | -1,478,558円、98.2% | |
| 自主事業収入 | 1,753,529円 | 845,259円 | 908,270円、207.4% | 自主事業15教室に増加 |
| その他 | 871,510円 | 1,646,520円 | -775,010円、52.9% | 淀江漏水還付あり |
| 合計 | 102,646,432円 | 102,513,642円 | 132,790円、100.1% | |

(2) 支出

| 項目 | 本年度〔令和4年4～9月〕 A | 前年度〔令和3年4～9月〕 B | 対比 A-B、A/B | 対比が±20%を超える場合は増減理由を記載 |
|---------|--------------------|--------------------|---------------------|-----------------------|
| 人件費 | 43,351,300円 | 44,154,000円 | -802,700円 (98.1%) | |
| 管理運営費 | 58,254,606円 | 57,956,912円 | 297,694円 (100.5%) | |
| (うち委託料) | 26,845,981円 | 23,589,210円 | 3,256,771円 (113.8%) | |
| 合計 | 101,605,906円 | 102,110,912円 | -505,006円 (99.5%) | |

※3 経営状況分析指標

| 項目 | 本年度〔令和4年4～9月〕 A | 前年度〔令和3年4～9月〕 B | 対比 A-B、A/B | 備考 |
|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|----|
| ① 事業収支 | 1,040,526 円 | 402,730 円 | 637,796 円 258.3% | |
| ② 利用料金比率 | 17.0% | 15.7% | 1.3% | |
| ③ 人件費比率 | 42.6% | 43.2% | -0.6% | |
| ④外部委託費比率 | 26.4% | 23.1% | 3.3% | |
| ⑤利用者当たり管理コスト | 421.9 円 | 426.4 円 | -4.5 円 98.9% | |
| ⑥利用者当たり自治体負担コスト | 342.4 円 | 350.6 円 | -8.2 円 97.6% | |

①事業収支：(収入ー支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていようかどうか確認する。赤字の場合は管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

②利用料金比率：(利用料金収入/収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：(人件費/支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、逆に費用がかかりすぎていないかを確認する。

④外部委託比率：(外部委託費合計/支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

※4 団体等の経営状況（下期に実施）

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

市に対し東山公園や日野川運動公園等の草木に関する除草・伐採を求める意見が複数あり、その都度指定管理者へ連絡して対応を行った。特に、草木が成長しやすい時期については、作業頻度を増加させるよう指示を行った。

6 利用者アンケートの結果

下期に集計